# ※一部非公開

令和5年度入学試験問題(前期日程)

# 筆 記 試 験

教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 美術教育専修

#### 注意事項

- 1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
- 3. 解答時間は, 120分である。
- 4. 試験開始の合図があるまで、問題を見てはいけない。

### 問 題

照屋勇賢氏の「結ーい、結ーい」という作品について、別紙の文献に示された 文章と写真を参考にしながら、そこで見えてくる伝統工芸と現代美術の関係性 について述べなさい。

### 注意事項

1. 字数や解答用紙の枚数に制限はないが、No. 欄に通し番号を記入すること。

### 令和5年度入学試験問題(前期日程)

### 筆 記 試 験

教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 美術教育専修

#### 出題の意図

教育学部のアドミッションポリシーでは、教育という営みの本質を学びつつ、主として学校 教育に関わる今日的な問題に真剣に取り組もうとする、「教員として主体性を持ち、子ども及 び社会と関わっていきたい人」「教育の理論と実践を広く深く学ぶ意欲のある人」「高等学校 での基礎学力を身につけ、思考力、判断力、表現力を持つ人」「沖縄の歴史的・地理的・文化 的・社会的特性を活かしながら、グローバルな視点に立って教育活動に携わりたい人」を求め ており、その適性の中でも特に美術教育での適性を見るために、筆記試験においては「発想力 や鑑賞力、造形教育への関心度」を見ることにしている。

題材として取り上げたのは、現代美術と伝統工芸をテーマに、同時代の美術と社会の関係性について多面的な見方から表現している作品である。本間では、多様化する美術に内包される諸問題についての関心度や解釈力、また独自の着眼点によって文章とビジュアルを分析できるかを見る。加えて、美術表現の社会性について幅広い捉え方を通して独自の考えを論理的に構築できるかについても見る。

令和5年度入学試験問題(前期日程)筆記試験教育学部学校教育教員養成課程中学校教育コース教科教育専攻美術教育専修参考文献

照屋勇賢「結ーい、結ーい」(麻に着色 180×140cm)

ニューヨーク (現在はベルリン) で活動している沖縄出身アーティスト照屋勇賢は、全ての プロジェクトにおいて、彼が暮らしている環境に対し鋭い洞察力を持ってアプローチしてい ます。彼の作品は自然と消費主義の繋がりを、伝統的でありなおかつ現代的でもある素材を 取り入れながら辿っています。

「結一い、結一い」は、2002年に東京で行われたVOCA展にて奨励賞を受賞した作品です。この混成作品では、照屋氏は伝統工芸として沖縄に伝わる紅型を利用し、着物を作成しています。作品をよく見てみると、パラシュートや米軍の戦闘機が、菊の花や水しぶきとともに並行して配置されており、現代の沖縄における政治的緊張を沖縄の伝統を作品の中で上手く融合しているのが分かります。沖縄において戦闘機を目にするのは日常の行為であり、またジュゴンの周りを飛んでいるヘリコプターは、新しいヘリポートが沖縄に今なお生きているジュゴンの生息地域を侵食するのではないかという作者の思いが反映しています。

### 非公開

(http://www.shinyawatanabe.net/anotherexpo/yukenteruyaintroductionj.htm, 2022/07/25, 抜粋·一部改変)

## 非公開